

いま金融機関との提携が増加中！

日本貿易保険が提供する 貿易保険の商品性と活用法

独立行政法人 日本貿易保険 理事

小泉 哲哉

輸出や海外投融資などの対外取引に伴うリスクをカバーする「貿易保険」。ここでは、独立行政法人・日本貿易保険が取り扱う貿易保険の商品性を紹介するとともに、地域金融機関における効果的な活用法や日本貿易保険と提携するメリットなどについて解説する。

このところ、地方銀行や信用金庫が日本貿易保険と提携したという話や、日本酒や機械設備等を扱う企業が、貿易保険を利用して輸出したといった話がしばしば新聞記事になるが、皆さんは「貿易保険」の内容をご存知だろうか。

金融機関の担当者の中には、「輸出手形保険」なら聞いたことがある、あるいは外為研修で習ったことがある、という方が多いかもしれない。輸出手形保険はしなごなしの輸出手形を買い取る際に

付ける保険で、1950年から通産省（当時）が行ってきた制度である。現在は経済産業省の後盾のもと、独立行政法人・日本貿易保険が運営している。

日本貿易保険が取り扱う貿易保険の種類は大きく分けて、

- ① 輸出代金債権を回収リスクから守る輸出保険
 - ② 海外法人への出資金を天災やカントリーリスクから守る投資保険
 - ③ 海外への融資を守る貸付保険
- の3種類がある。日本酒や機械設備等の輸出に使われている保険

は、このうちの①輸出保険であり、手形決済のみならず送金決済条件でも利用可能である。

本稿では、貿易保険がお客様にどのように役立つか、金融機関としてこれをどのように営業に活かせるかについて解説する。

1 日本貿易保険とは どのような 機関なのか

独立行政法人・日本貿易保険

（NEXI）は、経済産業省が100%出資する法人で、政府の信用力を後盾に、通常の保険では対応できないリスクをカバーする保険を引き受けることを業務としている。

英文名である「NEXI」は、Nippon Export and Investment Insuranceの略で、文字とおり輸出と投資の保険（それに融資の保険が加わる）である。経済産業省から業務を引き継ぎ、2001年に発足した。

年間の保険引受実績は約10兆円

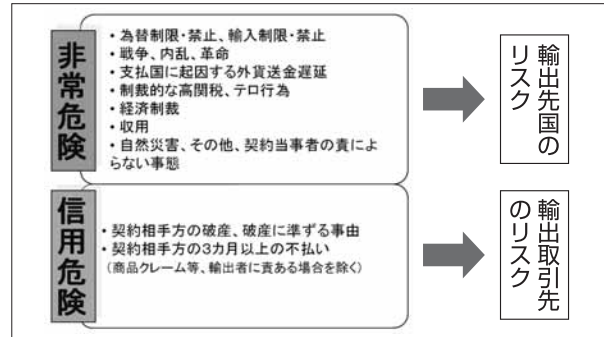
で、そのうちの約7兆円が前記①の輸出保険である。わが国の輸出額は総額70兆円あまり。そのうち第三者向け輸出が約30兆円程度と考えると、わが国の第三者向け輸出のおよそ4分の1に、NEXIの輸出保険が付いている計算である。

しかし、その多くは大企業による輸出であり、中小企業が輸出保険を使っている例は残念ながらまだ年間400社弱にとどまってい

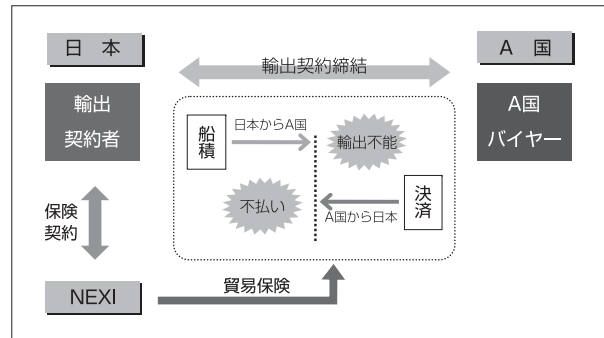
る。それは、NEXIが従業員140名あまりで、国内拠点は東京と大阪のみという小さな組織であることから、全国の中小企業との接点を持ちづらいことと無関係ではない。

そこでNEXIは、他の支援機関との協力関係強化を図るのみならず、中小企業とも接点の多い、地方銀行との提携を2011年からスタートさせた。さらに2014年からは信用金庫とも提携を開

図表1 貿易保険がカバーする危険



図表2 輸出保険の仕組み



始し、そのネットワークは2015年12月現在で101まで拡大している。

2 NEXIでは どんな保険商品を 取り扱っているのか

NEXIが取り扱う保険は貨物海上保険等と異なり、モノの保険ではなく権利の保険である（図表1）。

例えば、輸出代金債権、出資金、貸付債権といった権利を守る。何から守るのかというと、戦争や革命、テロ、輸入制限、外貨交換・送金の停止、自然災害といった当事者の責めに帰さない事由（非常危険）や、相手方の破産等（信用危険）からである。

① 輸出の保険

輸出保険では、貨物を船積みした後で非常危険が発生した場合や相手方が破産した場合、商品クレーム等がないにもかかわらず輸出代金が期日後3カ月経っても払われない場合に、保険金を請求でき

る（図表2）。また、輸出契約後、船積みまでの間に非常危険の発生や相手方の破産により輸出不能となった場合、貨物の転売・処分損に対して保険金が払われるという種類の保険もある。

輸出保険の中でも中小企業専用の保険として、中小企業輸出代金保険というものが用意されている。これは資本金10億円未満の企業のみが利用可能な保険で、中小企業基本法上の「中小企業者」よりは広い範囲のお客様が利用可能。契約金額5000万円以下、ユーザンス期間180日以内の輸出契約について、不払いリスクのみカバーする保険である。

金額・期間に上限があること、船積み前の輸出不能を対象としないことから、保険料率は低く抑えられている。

例えば現在、中国向け60日後払いの場合、大企業も利用できて30日間の船積み前の危険にも対応する貿易一般保険（個別）の保険料率が1・293%なのに対して、中小企業輸出代金保険は0・82